

【税関の役割】

安全・安心な 1 社会の実現

税関は、輸出入の規制物品を最終的にチェックする機関として、覚醒剤、麻薬、銃砲等の社会悪物品や、爆発物、火薬類、化学兵器原料等のテロ関連物資、大量破壊兵器、知的財産侵害物品等を水際の第一線で取締まっています。さらに、偽造クレジットカード、盗難自動車等の不正輸出入の取締りも行っています。これらの取締りにおいては、警察庁、海上保安庁等関係省庁との連携・協力を行うとともに、外国の税関当局とも情報交換を実施しています。また、検査機器の調査・研究を行うなど、先端技術を十分に活用した効率的な水際取締りを行っています。

税関は、金額にして約9.1兆円（国税収入の約1割超）を徴収する重要な歳入官庁です。通関時における適正な審査・検査、輸入後における税額等の適否の調査（事後調査）を実施して申告漏れの発見・追徴を行っています。また、脱税の疑いがあれば犯則調査を実施し、検察等の関係機関と連携のうえ大口の脱税事犯の告発も行っています。これらの実施は、国際的なルールに基づくものであり、これらのルールの策定、解釈については、税関職員が国際機関に出向したり、国際会議に参加するなど、我が国も積極的に貢献しているところです。

適正かつ公平 2 な関税等の 徴収

貿易円滑化 3 の推進

国際物流が高度化・多様化する中で、貿易のセキュリティの確保と円滑化を両立させることも税関に課せられた使命です。

財務省・税関は、民間企業と税関のパートナーシップを通じて、貿易のセキュリティ確保と円滑化の両立を図るAEO制度の実施に取り組んでいます。また、税関においては、輸出入貨物に係る税関手続のIT化を一層進めることで、通関手続の簡素化・効率化、利用者利便の向上に取り組んでいます。さらに、WTO（世界貿易機構）を中心とした多角的自由貿易体制の強化、EPAの締結推進にも取り組んでいるところです。